

事業所名 多機能型発達支援へレナ

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

11 日

法人(事業所)理念	「何歳まででも発達する」の考えをベースに、より早い時期から、個々人の可能性を最大限追求します。障害を持つすべての方が身体発達、認知発達、社会性の発達等の正しい専門性に気軽に触れられるようにします。地域において安心安全な暮らしやその人らしい暮らし、また理想の暮らしを実現できるよう奔走します。				
支援方針	さまざまな尺度(身体発達・認知発達・コミュニケーションの発達・行動・遊び・生活等)を使って利用者様を多角的に評価し、その方に今必要な課題を組み込んだ療育プログラムを提供します。またできるだけ困りごとには寄り添い、家庭や地域の問題の解決する手助けをします。				
営業時間	9 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 家族との情報共有の徹底し、日々の健康管理、体調に合わせた療育に反映させます。 看護師・有資格者による医療的ケア(吸引・吸入・注入・呼吸器管理・内服等)を行います。 生活リズムや生活習慣の形成、ADL(日常生活動作)を組み込んだ療育を行います。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 身体の発達状況や障害状況を評価し、システム理論などを使い、運動発達を促進したり、誤って学習している運動を修正したりします。 認知発達にも影響の強い感覚遊びを感覚統合法などの観点から行い、感覚入力、統合を促進します。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 小児の発達検査や保育論、特殊教育研究などをミックスした独自の発達尺度で認知段階を評価し、次の段階に進むための療育を行います。 発達段階に応じて、個別療育・集団療育を使い分け行います。 多種多様な教材を使った認知発達の療育を行います。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 認知発達と同じく、独自の尺度を使って評価し、それに基づいて次のステップに進めるようコミュニケーションの療育を行います。 障害状況に応じて、コミュニケーションを支援する機器や道具を使い、代替的な手段でも発達していけるようにします。 本人が気持ちよく伝えられるような適切な方法を一緒に考えます。 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて集団を設定し、その中で他の友達と関わり、言語ややりとりを学んだり、職員と一対一でやりとりを学んだりします。 非認知能力を育てる関わりをします。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ご家族からの相談に対し真摯に対応し、できる限り支援を行います。 ご家族とできようになったことや上手なことをたくさん共有して喜びを分かち合います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域の保育園への入園・就学に向けて、保育所や特別支援学校、小学校の勤務経験のある職員から様々な情報提供・支援を行います。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校・他の事業所など利用者様を取り巻く機関と情報共有を行い、連携を図ります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 職員個人のスキルに合わせた座学・OJTの研修(最低月一回) 利用者様一人一人の事例を検討し、よりよい支援に繋がります。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事やおでかけ、 運動会や発表会(児童発達支援のみ) 				